

議題3（委員会決裁事項（規則第3条第1号））

平成31年度大阪府公立学校入学者選抜方針等について

次の選抜方針について、別紙のとおり決定する。

- ・平成31年度大阪府公立高等学校入学者選抜方針
- ・平成31年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科入学者選抜方針
- ・平成31年度大阪府立支援学校高等部及び幼稚部入学者決定方針
- ・平成31年度大阪府立富田林中学校入学者選抜方針

平成30年3月28日

大阪府教育委員会

平成31年度大阪府公立高等学校入学者選抜方針

大阪府公立高等学校（以下「高等学校」という。）の入学者選抜は、以下の方針に基づいて、各高等学校長（大阪市立水都国際高等学校にあっては、大阪市教育委員会教育長の指名を受けた者。以下同じ。）が行う。

第1 全般的な事項

I 入学者選抜の種類

入学者選抜の種類は、特別入学者選抜、大阪府立豊中高等学校能勢分校に係る入学者選抜、海外から帰国した生徒の入学者選抜、日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜、知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜、一般入学者選抜、二次入学者選抜、知的障がい生徒自立支援コース補充入学者選抜、秋季入学者選抜とする。

II 応募資格

高等学校入学者選抜に志願することのできる者は、法令に定められた入学資格を有する者のうち次の者とする。

- 1 全日制の課程（クリエイティブスクールにおける全日制の課程を含む。以下同じ。）の入学者選抜、多部制単位制Ⅰ部及びⅡ部（クリエイティブスクール）並びに昼夜間単位制の入学者選抜に志願することのできる者は、原則として、本人及びその保護者の住所が大阪府内にある者とする。
（注）住所とは、住民票に記載されている居所をいう。以下同じ。
- 2 多部制単位制Ⅲ部（クリエイティブスクール）、定時制の課程（クリエイティブスクールにおける定時制の課程を含む。以下同じ。）及び通信制の課程の入学者選抜に志願することのできる者は、原則として、本人の住所若しくは勤務先が大阪府内にある者又は本人の勤務先が大阪府内になることが確定している者とする。

III 学力検査等

- 1 学力検査及び実技検査等の問題は、大阪府教育委員会（以下「府教育委員会」という。）が作成する。
- 2 学力検査の問題は、中学校卒業までに習得される基礎的な学力を評価することを主眼として、国語、社会、数学、理科及び英語について作成する。なお、実施する学力検査は、選抜の種類によって異なる。また、英語の学力検査にはリスニングテストを含む。
- 3 学力検査「英語」において、外部機関が認証した英語力判定テスト（TOEFL iBT、IELTS及び実用英語技能検定を対象とする。）のスコア等を活用する。なお、活用にあたり必要な事項は、府教育委員会が別に定める*。
*高等学校を設置する教育委員会の決定を踏まえ、府教育委員会が別に定める場合は、「府教育委員会が別に定める」という。以下同じ。
- 4 学力検査及び実技検査等は、各高等学校長が当該高等学校において行う。
ただし、大阪市立水都国際高等学校にあっては、大阪市教育委員会教育長が定めた場所において行う。

IV 提出書類

- 1 中学校若しくはこれに準ずる学校、義務教育学校又は中等教育学校（以下「中学校」という。）の校長（以下「中学校長」という。）は、原則として、調査書を提出するものとする。
- 2 志願者は、出願時に自己申告書を提出するものとする。ただし、日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜に志願する者を除く。

V 募集人員・通学区域

- 1 各高等学校の募集人員は、府教育委員会が別に定める。なお、秋季入学者選抜における高等学校の募集人員は、若干名とする。
- 2 通学区域に関し必要な事項は、高等学校を設置する教育委員会が別に定める。

VI その他

- 1 この方針で定めるもののほか、入学者選抜の実施に関し必要な事項は、府教育委員会が別に定める。

第2 各入学者選抜の具体的事項

I 特別入学者選抜

特別入学者選抜を実施する課程等は、全日制の課程専門学科（工業に関する学科（建築デザイン科、インテリアデザイン科、プロダクトデザイン科、映像デザイン科、ビジュアルデザイン科及びデザインシステム科）、グローバル探究科、美術科、体育に関する学科、芸能文化科、演劇科、音楽科及び総合造形科）、全日制の課程総合学科（エンパワメントスクール）、多部制単位制Ⅰ部及びⅡ部（クリエイティブスクール）並びに昼夜間単位制とする。

1 全日制の課程専門学科

（工業に関する学科（建築デザイン科、インテリアデザイン科、プロダクトデザイン科、映像デザイン科、ビジュアルデザイン科及びデザインシステム科）、グローバル探究科、美術科、体育に関する学科、芸能文化科、演劇科、音楽科及び総合造形科）

(1) 学力検査等

- 学力検査及び実技検査を実施する。
- 学力検査は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。
- 実技検査の内容を次のとおりとする。

学 科 名	実技検査の内容
工業に関する学科（建築デザイン科、インテリアデザイン科、プロダクトデザイン科、映像デザイン科、ビジュアルデザイン科及びデザインシステム科）、美術科及び総合造形科	美術に関する基礎的な描写力及び総合的な表現力
グローバル探究科	英語に関する技能のうち、「読む」「聴く」「話す」の総合的な運用能力
体育に関する学科	運動に関する基礎的な能力及び希望する検査種目における技能

芸能文化科	芸能文化に関する基礎的な表現力及び探究力
演劇科	演技に関する基礎的な表現力
音楽科	音楽に関する基礎的な視唱力・聴取力及び希望する専攻実技における表現力

(2) 選抜資料

- ・ 調査書、学力検査の成績、実技検査の成績及び自己申告書を選抜の資料とする。

(3) 選抜方法

ア 学力検査の成績及び調査書中の各学年の必修の全教科の評定の合計により算出した点数に、実技検査の成績を加えた総合点を基本に、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録をも資料として選抜を行う。

イ 総合点の算出に当たっては、次のとおり行うものとする。

(ア) 学力検査の各教科の成績を合計する。

(イ) 調査書中の各学年の各教科の評定の合計に、府教育委員会が別に定める倍率をそれぞれ乗じて合計する。

(ウ) (ア)及び(イ)で算出した点数に、高等学校を設置する教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を設置する教育委員会が決定した倍率をそれぞれ乗じて合計する。

(エ) (ウ)で算出した点数に、実技検査の成績を加え、総合点とする。

(4) 出願、学力検査、実技検査及び合格者発表の期日

- ・ 工業に関する学科（建築デザイン科、インテリアデザイン科、プロダクトデザイン科、映像デザイン科、ビジュアルデザイン科及びデザインシステム科）、グローバル探究科、美術科、体育に関する学科、芸能文化科、演劇科及び総合造形科

出 願	学 力 検 査	実 技 検 査	合 格 者 発 表
2月13日(水)及び 2月14日(木)	2月19日(火)	2月20日(水)	2月27日(水)

- ・ 音楽科

出 願	視唱、専攻実技	学力検査、聴音	合 格 者 発 表
2月5日(火)及び 2月6日(水)	2月17日(日)	2月19日(火)	2月27日(水)

2 全日制の課程総合学科（エンパワメントスクール）

(1) 学力検査等

- ・ 学力検査及び面接を実施する。
- ・ 学力検査は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。

(2) 選抜資料

- ・ 調査書、学力検査の成績、面接の評価及び自己申告書を選抜の資料とする。

(3) 選抜方法

- ア 選抜の第一手順として、学力検査の成績において、府教育委員会が別に定める基準に達した者の中から、面接の評価、自己申告書の評価及び調査書中の活動/行動の記録の評価を資料として選抜を行う。なお、第一手順によるそれぞれの資料の評価の比率及び募集人員に対する合格者の割合については、府教育委員会が別に定める。
- イ 選抜の第二手順として、第一手順における合格者を除いた者の中から、学力検査の成績及び調査書中の各学年の必修の全教科の評定の合計により算出した総合点により選抜を行う。
- ウ 総合点の算出に当たっては、次のとおり行うものとする。
- (ア) 学力検査の各教科の成績を合計する。
 - (イ) 調査書中の各学年の各教科の評定の合計に、府教育委員会が別に定める倍率をそれぞれ乗じて合計する。
 - (ウ) (ア)及び(イ)で算出した点数に、府教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、府教育委員会が決定した倍率をそれぞれ乗じて合計する。

(4) 出願、学力検査、面接及び合格者発表の期日

出 願	学 力 検 査	面 接	合格者発表
2月13日(水)及び 2月14日(木)	2月19日(火)	2月20日(水)	2月27日(水)

3 多部制単位制 I 部及び II 部（クリエイティブスクール）並びに昼夜間単位制

3-1 平成31年3月に中学校を卒業若しくは修了（以下「卒業」という。）見込みの者

(1) 学力検査等

- ・ 学力検査及び面接を実施する。
- ・ 学力検査は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。

(2) 選抜資料

- ・ 調査書、学力検査の成績、面接の評価及び自己申告書を選抜の資料とする。

(3) 選抜方法

- ア 選抜の第一手順として、学力検査の成績において、府教育委員会が別に定める基準に達した者の中から、面接の評価、自己申告書の評価及び調査書中の活動/行動の記録の評価を資料として選抜を行う。なお、第一手順によるそれぞれの資料の評価の比率及び募集人員に対する合格者の割合については、府教育委員会が別に定める。
- イ 選抜の第二手順として、第一手順における合格者を除いた者の中から、学力検査の成績及び調査書中の各学年の必修の全教科の評定の合計により算出した総合点により選抜を行う。
- ウ 総合点の算出に当たっては、次のとおり行うものとする。
- (ア) 学力検査の各教科の成績を合計する。
 - (イ) 調査書中の各学年の各教科の評定の合計に、府教育委員会が別に定める倍率をそれぞれ乗じて合計する。
 - (ウ) (ア)及び(イ)で算出した点数に、高等学校を設置する教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を設置する教育委員会が決定した倍率をそれぞれ乗じて合計する。

(4) 出願、学力検査、面接及び合格者発表の期日

出 願	学 力 検 査	面 接	合格者発表
2月13日(水)及び 2月14日(木)	2月19日(火)	2月20日(水)	2月27日(水)

3-2 中学校を卒業した者（過年度卒業者）

- (1) 上記3-1による選抜と「調査書を要しない選抜」のどちらかを選択することができる。
- (2) 「調査書を要しない選抜」は、次のとおり行うものとする。
 - ア 学力検査等については、上記3-1(1)に準ずる。
 - イ 中学校長からの調査書の提出は不要とする。
 - ウ 学力検査の成績、面接の評価及び自己申告書を選抜の資料とする。
 - エ 選抜方法については、府教育委員会が別に定める。

(3) 出願、学力検査、面接及び合格者発表の期日

出 願	学 力 検 査	面 接	合格者発表
2月13日(水)及び 2月14日(木)	2月19日(火)	2月20日(水)	2月27日(水)

II 大阪府立豊中高等学校能勢分校に係る入学者選抜

大阪府立豊中高等学校能勢分校に係る入学者選抜を実施する高等学校は、大阪府立豊中高等学校能勢分校とする。

1 学力検査等

- 学力検査及び面接を実施する。
- 学力検査は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。

2 選抜資料

- 調査書、学力検査の成績、面接の評価及び自己申告書を選抜の資料とする。

3 出願、学力検査、面接及び合格者発表の期日

出 願	学 力 検 査	面 接	合格者発表
2月13日(水)及び 2月14日(木)	2月19日(火)	2月20日(水)	2月27日(水)

4 その他

- 本人及び保護者の住所が能勢町又は豊能町にある者は、別に定める「能勢・豊能地域選抜」を選択することができる。

III 海外から帰国した生徒の入学者選抜

海外から帰国した生徒の入学者選抜を実施する学科は、英語科、国際教養科、国際文化科、グローバル科、グローバル探究科及び総合科学科とする。

1 志願できる者

- 原則として、外国において継続して2年以上在留し、帰国後2年以内の者とする。

2 学力検査等

- 学力検査及び面接を実施する。

- ・ 学力検査は、数学及び英語とする。

3 選抜資料等

- ・ 中学校長からの調査書の提出は不要とする。
- ・ 学力検査の成績及び面接の評価を選抜の資料とする。
- ・ 自己申告書を面接の参考資料とする。

4 出願、学力検査等及び合格者発表の期日

出 願	学力検査、面接	合 格 者 発 表
2月13日(水)及び 2月14日(木)	2月19日(火)	2月27日(水)

IV 日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜

日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜を実施する高等学校は、府教育委員会が別に定める。

1 志願できる者

- ・ 原則として、中国等から帰国した者又は外国籍を有する者で小学校第4学年以上の学年に編入学した者とする。

2 学力検査等

- ・ 学力検査及び作文を実施する。
- ・ 学力検査は、数学及び英語とする。
- ・ 作文は、日本語以外の使用を認める。

3 選抜資料等

- ・ 中学校長からの調査書の提出は不要とする。
- ・ 学力検査の成績及び作文の評価を選抜の資料とする。

4 出願、学力検査等及び合格者発表の期日

出 願	学力検査、作文	合 格 者 発 表
2月13日(水)及び 2月14日(木)	2月19日(火)	2月27日(水)

V 知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜

知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜を実施する高等学校は、府教育委員会が別に定める。

1 志願できる者

- ・ 次の(1)～(3)のいずれにも該当する者とする。
 - (1) 平成31年3月に大阪府内の中学校を卒業する見込みの者
 - (2) 療育手帳を所持している者又は児童相談所等の公的機関により知的障がいと判定を受けた者
 - (3) 自主的な通学が可能である者

2 学力検査等

- ・ 学力検査を実施せず、面接を実施する。

3 選抜資料等

- ・ 中学校長が提出する書類は、調査書及び推薦書とする。
- ・ 調査書、推薦書及び面接を選抜の資料とする。

- ・ 自己申告書を面接の参考資料とする。

4 出願、面接及び合格者発表の期日

出 願	面 接	合 格 者 発 表
2月13日(水)及び 2月14日(木)	2月18日(月)、2月19日(火)、 2月20日(水)、2月21日(木)のうち一日	2月27日(水)

5 その他

- ・ 本コースは、高等学校において知的障がいのある生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行い、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する制度である。

VI 一般入学者選抜

一般入学者選抜を実施する課程等は、全日制の課程普通科（単位制高等学校を含む。）、全日制の課程専門学科（商業に関する学科、グローバルビジネス科、農業に関する学科、工業に関する学科（建築デザイン科、インテリアデザイン科、プロダクトデザイン科、映像デザイン科、ビジュアルデザイン科及びデザインシステム科を除く。）、情報科学科、英語科、国際教養科、国際文化科、グローバル科、国語科、理数科、総合科学科、サイエンス創造科、文理学科、福祉ボランティア科及び食物文化科）、全日制の課程総合学科（クリエイティブスクールを含み、エンパワメントスクールを除く。）、多部制単位制Ⅲ部（クリエイティブスクール）、定時制の課程及び通信制の課程とする。

平成31年度特別入学者選抜、大阪府立豊中高等学校能勢分校に係る入学者選抜、海外から帰国した生徒の入学者選抜、日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜、知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜、大阪府立大学工業高等専門学校における入学者選抜及び大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科入学者選抜の合格者は、一般入学者選抜に出願することができない。

1 全日制の課程普通科（単位制高等学校を除く。）

全日制の課程専門学科（商業に関する学科、グローバルビジネス科、農業に関する学科、工業に関する学科（建築デザイン科、インテリアデザイン科、プロダクトデザイン科、映像デザイン科、ビジュアルデザイン科及びデザインシステム科を除く。）、情報科学科、英語科、国際教養科、国際文化科、グローバル科、国語科、理数科、総合科学科、サイエンス創造科、文理学科、福祉ボランティア科及び食物文化科）

全日制の課程総合学科（エンパワメントスクール及びクリエイティブスクールを除く。）

(1) 学力検査等

- ・ 学力検査を実施する。
- ・ 学力検査は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。

(2) 選抜資料

- ・ 調査書、学力検査の成績及び自己申告書を選抜の資料とする。

(3) 選抜方法

ア 学力検査の成績及び調査書中の各学年の必修の全教科の評定の合計により算出した総合点を基本に、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録をも資料として選抜を行う。

イ 総合点の算出に当たっては、次のとおり行うものとする。

- (ア) 学力検査の各教科の成績を合計する。
- (イ) 調査書中の各学年の各教科の評定の合計に、府教育委員会が別に定める倍率をそれぞれ乗じて合計する。
- (ウ) (ア)及び(イ)で算出した点数に、高等学校を設置する教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を設置する教育委員会が決定した倍率をそれぞれ乗じて合計する。

(4) 出願、学力検査及び合格者発表の期日

出 願	学 力 検 査	合 格 者 発 表
3月1日(金)、3月4日(月) 及び3月5日(火)	3月11日(月)	3月19日(火)

2 全日制の課程普通科単位制高等学校及び全日制の課程総合学科（クリエイティブスクール）

2-1 平成31年3月に中学校を卒業見込みの者

(1) 学力検査等

- ・ 学力検査を実施する。
- ・ 学力検査は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。

(2) 選抜資料

- ・ 調査書及び学力検査の成績、自己申告書を選抜の資料とする。

(3) 選抜方法

ア 学力検査の成績及び調査書中の各学年の必修の全教科の評定の合計により算出した総合点を基本に、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録をも資料として選抜を行う。

イ 総合点の算出に当たっては、次のとおり行うものとする。

- (ア) 学力検査の各教科の成績を合計する。
- (イ) 調査書中の各学年の各教科の評定の合計に、府教育委員会が別に定める倍率をそれぞれ乗じて合計する。
- (ウ) (ア)及び(イ)で算出した点数に、府教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、府教育委員会が決定した倍率をそれぞれ乗じて合計する。

(4) 出願、学力検査及び合格者発表の期日

出 願	学 力 検 査	合 格 者 発 表
3月1日(金)、3月4日(月) 及び3月5日(火)	3月11日(月)	3月19日(火)

2-2 中学校を卒業した者（過年度卒業生）

(1) 上記2-1による選抜と「調査書を要しない選抜」のどちらかを選択することができる。

(2) 「調査書を要しない選抜」は、次のとおり行うものとする。

ア 学力検査等については、上記2-1(1)に示す学力検査に加え、面接を実施する。

イ 中学校長からの調査書の提出は不要とする。

ウ 学力検査の成績、面接の評価及び自己申告書を選抜の資料とする。

エ 選抜方法については、府教育委員会が別に定める。

(3) 出願、学力検査等及び合格者発表の期日

出 願	学力検査、面接	合 格 者 発 表
3月1日(金)、3月4日(月) 及び3月5日(火)	3月11日(月)	3月19日(火)

3 多部制単位制Ⅲ部（クリエイティブスクール）及び定時制の課程

3-1 満21歳未満の者（平成10年4月2日以降に生まれた者）

(1) 学力検査等

- ・ 学力検査を実施する。
- ・ 学力検査は、国語、数学及び英語とする。

(2) 選抜資料

- ・ 調査書及び学力検査の成績、自己申告書を選抜の資料とする。

(3) 選抜方法

ア 学力検査の成績及び調査書中の各学年の必修の全教科の評定の合計により算出した総合点を基本に、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録をも資料として選抜を行う。

イ 総合点の算出に当たっては、次のとおり行うものとする。

(ア) 学力検査の各教科の成績を合計する。

(イ) 調査書中の各学年の各教科の評定の合計に、府教育委員会が別に定める倍率をそれぞれ乗じて合計する。

(ウ) (ア)及び(イ)で算出した点数に、高等学校を設置する教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を設置する教育委員会が決定した倍率をそれぞれ乗じて合計する。

(4) 出願、学力検査及び合格者発表の期日

出 願	学 力 検 査	合 格 者 発 表
3月1日(金)、3月4日(月) 及び3月5日(火)	3月11日(月)	3月19日(火)

3-2 満21歳以上の者（平成10年4月1日までに生まれた者）

(1) 学力検査等については、上記3-1(1)に示す学力検査に加え、面接を実施する。

(2) 中学校長からの調査書の提出は不要とする。

(3) 学力検査の成績、面接の評価及び自己申告書の評価を選抜の資料とする。

(4) 志願者の希望により、学力検査を小論文に代えることができる。この場合、小論文の評価、面接の評価及び自己申告書の評価を選抜の資料とする。

(5) 選抜方法については、府教育委員会が別に定める。

(6) 出願、学力検査等及び合格者発表の期日

出 願	学力検査又は小論文、面接	合 格 者 発 表
3月1日(金)、3月4日(月) 及び3月5日(火)	3月11日(月)	3月19日(火)

4 通信制の課程

4-1 満21歳未満の者（平成10年4月2日以降に生まれた者）

- (1) 学力検査等
 - ・ 学力検査を実施せず、面接を実施する。
- (2) 選抜資料等
 - ・ 調査書及び面接の評価を選抜の資料とする。
 - ・ 自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録を面接の参考資料とする。
- (3) 出願、面接及び合格者発表の期日

出 願	面 接	合 格 者 発 表
3月3日(日)、3月4日(月) 及び3月5日(火)	3月8日(金)、3月9日(土)、 3月10日(日)のうち1日	3月19日(火)

4-2 満21歳以上の者（平成10年4月1日までに生まれた者）

- (1) 学力検査等については、上記4-1(1)に準ずる。
- (2) 中学校長からの調査書の提出は不要とする。
- (3) 面接の評価を選抜の資料とし、自己申告書を面接の参考資料とする。
- (4) 出願、面接及び合格者発表の期日については、上記4-1(3)に準ずる。

VII 二次入学者選抜

二次入学者選抜は、平成31年度大阪府公立高等学校入学者選抜実施校のうち、特別入学者選抜、大阪府立豊中高等学校能勢分校に係る入学者選抜及び一般入学者選抜を実施する学科等において、合格者数が募集人員に満たない場合において実施する。

1 志願できる者

- ・ 次の(1)～(3)のいずれかに該当する者とする。ただし、高等学校若しくはこれに準ずる学校、中等教育学校後期課程又は高等専門学校に在籍している者は出願することはできない。
- (1) 本入学者選抜出願時に国公私立の高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部のうち、いずれの入学者選抜にも合格していない者（出願していない者を含む。）又は合格しても必要な手続きをしなかったため入学の資格を失った者
- (2) 中等教育学校前期課程を修了見込みの者であって後期課程に進級しないことが確定している者のうち、(1)に該当する者
- (3) 併設型中高一貫教育における併設中学校を卒業見込みの者であって併設高等学校に進学しないことが確定している者のうち、(1)に該当する者

2 学力検査等

- ・ 学力検査を実施せず、面接を実施する。

3 選抜資料等

- ・ 中学校長が提出する書類は、調査書とする。
- ・ 調査書及び面接の評価を選抜の資料とする。
- ・ 自己申告書を面接の参考資料とする。

4 出願、面接及び合格者発表の期日

出 願	面 接	合 格 者 発 表
3月22日(金)	3月22日(金)	3月26日(火)

VIII 知的障がい生徒自立支援コース補充入学者選抜

知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜のうち合格者数が募集人員に満たない高等学校においては、知的障がい生徒自立支援コース補充入学者選抜を実施する。

1 志願できる者

- ・ 上記「Ⅶ 二次入学者選抜」における「1 志願できる者」のうち、次の(1)～(3)のいずれにも該当する者とする。

(1) 平成31年3月に大阪府内の中学校を卒業する見込みの者

(2) 療育手帳を所持している者又は児童相談所等の公的機関により知的障がいを有すると判定を受けた者

(3) 自主的な通学が可能である者

2 学力検査等

- ・ 学力検査を実施せず、面接を実施する。

3 選抜資料等

- ・ 中学校長が提出する書類は、調査書及び推薦書とする。
- ・ 調査書、推薦書及び面接を選抜の資料とする。
- ・ 自己申告書を面接の参考資料とする。

4 出願、面接及び合格者発表の期日

出 願	面 接	合 格 者 発 表
3月22日(金)	3月22日(金)	3月26日(火)

5 その他

- ・ 本コースは、高等学校において知的障がいのある生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行い、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する制度である。

IX 秋季入学者選抜

秋季入学者選抜は、府立桃谷高等学校（多部制単位制Ⅰ部及びⅡ部並びにⅢ部（クリエイティブスクール））において実施する。

1 学力検査等

- ・ 学力検査を実施せず、小論文及び面接を実施する。

2 選抜資料等

- ・ 中学校長からの調査書の提出は不要とする。
- ・ 小論文の評価及び面接の評価を選抜の資料とする。
- ・ 自己申告書を面接の参考資料とする。

3 出願、小論文等及び合格者発表の期日

出 願	小論文、面接	合 格 者 発 表
平成31年 9月9日(月)	平成31年 9月12日(木)	平成31年 9月18日(水)

平成31年度大阪府公立高等学校入学者選抜 日程表

高等学校

		選抜の種類	出願期間	学力検査等	合格者発表
特別入学者選抜	全日制の課程	<ul style="list-style-type: none"> 工業に関する学科 (建築デザイン科・インテリアデザイン科・プロダクトデザイン科・映像デザイン科・ビジュアルデザイン科・デザインシステム科) グローバル探究科 ・美術科 体育に関する学科 ・芸能文化科 演劇科 ・総合造形科 	2月13日(水)及び 2月14日(木)	学力検査 2月19日(火) 実技検査 2月20日(水)	2月27日(水)
		音楽科	2月5日(火)及び 2月6日(水)	視唱、専攻実技 2月17日(日) 学力検査、聴音 2月19日(火)	
		総合学科(エンパワメントスクール)	2月13日(水)及び 2月14日(木)	学力検査 2月19日(火) 面接 2月20日(水)	
	多部制単位制Ⅰ部・Ⅱ部(クリエイティブスクール) 昼夜間単位制				
大阪府立豊中高等学校能勢分校に係る入学者選抜				学力検査 2月19日(火) 面接 2月20日(水)	
海外から帰国した生徒の入学者選抜			2月13日(水)及び 2月14日(木)	学力検査、面接 2月19日(火)	
日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜				学力検査、作文 2月19日(火)	
知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜				面接 2月18日(月)、19日(火)、 20日(水)、21日(木)のうち一日	
一般入学者選抜	全日制の課程	<ul style="list-style-type: none"> 普通科(総合選択制及び単位制高等学校を含む。) 商業に関する学科 ・グローバルビジネス科 農業に関する学科 工業に関する学科(特別選抜実施学科を除く。) 情報科学科 ・英語科 ・国際教養科 国際文化科 ・グローバル科 ・国語科 ・理数科 総合科学科 ・サイエンス創造科 ・文理学科 福祉ボランティア科 ・食物文化科 総合学科(クリエイティブスクールを含み、エンパワメントスクールを除く。) 	3月1日(金) 3月4日(月) 及び 3月5日(火)	学力検査等 3月11日(月)	3月19日(火)
		多部制単位制Ⅲ部(クリエイティブスクール) 定時制の課程			
	通信制の課程	3月3日(日) 3月4日(月) 及び 3月5日(火)	面接 3月8日(金)、9日(土)、 10日(日)のうち一日		
二次入学者選抜(実施校がある場合)				面接 3月22日(金)	3月26日(火)
知的障がい生徒自立支援コース補充入学者選抜 (実施校がある場合)			3月22日(金)		
秋季入学者選抜			平成31年 9月9日(月)	小論文、面接 平成31年 9月12日(木)	平成31年 9月18日(水)

平成 31 年度大阪府公立高等学校入学者選抜の主な変更点

1 大阪市立水都国際高等学校における特別入学者選抜の実施

- (1) 対象校 大阪市立水都国際高等学校
- (2) 対象学科 グローバル探究科
- (3) 募集人員 80名
- (4) 選抜資料 調査書、学力検査（国語、社会、数学、理科、英語）の成績、
実技検査の成績及び自己申告書を選抜の資料とする。
- (5) 実技検査種目（予定）
 - ①英文の音読 ②英語による口頭試問（実技検査の具体的な内容については平成 30 年 9 月頃に公表する）

※ 調査書、学力検査及び実技検査の配点については6月、また、(ア)及び(イ)で算出した点数に
乗じる倍率については、7月を目途に決定し公表する。

＜参考＞

大阪市では、国家戦略特別区域における学校教育法の特例を活用した公設民営の手法により、併
設型中高一貫教育校である大阪市立水都国際中学校・水都国際高等学校を平成 31 年4月に新たに
開校する。

大阪市立水都国際中学校・高等学校は、自国の伝統や文化に根ざした国際理解教育と、英語によ
る優れたコミュニケーション能力の習得をめざす外国語教育に重点を置くことにより、国際社会で
リーダーシップを発揮し活躍するとともに、地球的視野に立って行動し、大阪の産業の国際競争力
の強化及び大阪における国際的な経済活動の拠点の形成に寄与する人材の育成を目的に開設する。
大阪市立水都国際高等学校にはグローバル探究科を設置し、国語以外の一部の教科において英語を
用いて授業を行うなど、英語教育に重点をおいた教育課程を編成する。そのため、入学者選抜にお
いて、学力検査に加えて、英語による技能のうち、「読む」「聴く」「話す」の総合的な英語運用能力
を測るための実技検査を実施する。

2 柏原地域連携型中高一貫教育に係る入学者選抜の廃止

大阪府立柏原東高等学校の募集停止に伴い、柏原地域連携型中高一貫教育に係る入学者選抜は廃止
する。

平成 31 年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科 入学者選抜方針

大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科入学者選抜は、以下の方針に基づいて、職業学科を設置する各高等支援学校長が行う。

第 1 全般的な事項

I 入学者選抜の種類

入学者選抜の種類は、大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科（本校）入学者選抜、大阪府立高等学校に設置する共生推進教室入学者選抜とする。

II 募集人員

各知的障がい高等支援学校職業学科（本校）及び各共生推進教室の募集人員は、別に定める。

III その他

この方針で定めるもののほか、入学者選抜の実施に関し必要な事項は、府教育委員会が別に定める。

第 2 各入学者選抜の具体的事項

I 大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科（本校）入学者選抜

就労を通じた社会的自立をめざす、大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科（本校）の入学者選抜を実施する学校は、大阪府立たまたがわ高等支援学校、大阪府立とりかい高等支援学校、大阪府立すながわ高等支援学校、大阪府立むらの高等支援学校及び大阪府立なにわ高等支援学校（以下「職業学科を設置する高等支援学校（本校）」という。）とする。

1 応募資格

職業学科を設置する高等支援学校（本校）への入学を志願することのできる者は、本人及び保護者の住所（住民票に記載されている居所をいう。以下同じ。）が原則として大阪府内にある者のうち、次の(1)～(3)までのいずれにも該当する者とする。

- (1) 平成 31 年 3 月に中学校若しくはこれに準ずる学校、義務教育学校又は中等教育学校の前期課程（以下「中学校等」という。）を卒業または修了（以下「卒業」という。）する見込みの者
- (2) 療育手帳を所持している者又は児童相談所等の公的機関により知的障がいと判定を受けた者
- (3) 自主的な通学が可能である者

2 選抜方法等

- (1) 入学者の選抜は、中学校等の校長が提出する調査書及び推薦書並びに適性検査（筆答・作業）及び面接（以下「検査等」という。）の結果を総合的に判断して、職業学科を設置する高等支援学校（本校）の校長（以下、「支援学校長」という。）が行う。
- (2) 検査等は、各支援学校長が当該支援学校において行う。

3 出願、検査等及び合格者発表の期日

出願	検査等	合格者発表
2月13日(水)及び 2月14日(木)	面接 2月19日(火) 検査 2月20日(水)	2月27日(水)

4 併願等

- (1) 本入学者選抜に出願する者は、本入学者選抜方針の大阪府立高等学校に設置する共生推進教室入学者選抜並びに平成31年度大阪府公立高等学校入学者選抜のうち特別入学者選抜、大阪府立豊中高等学校能勢分校に係る入学者選抜、海外から帰国した生徒の入学者選抜、日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜、知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜への志願において、併願することができない。
- (2) 本入学者選抜の合格者は、平成31年度大阪府公立高等学校入学者選抜のうち一般入学者選抜及び二次入学者選抜に出願することができない。本入学者選抜の合格者で平成31年度大阪府立支援学校高等部入学者決定に出願している者は、その受験資格を失う。

5 大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科(本校)補充入学者選抜

本入学者選抜実施校のうち合格者数が募集人員に満たない職業学科を設置する高等支援学校(本校)にあつては、大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科(本校)補充入学者選抜(以下、「知的障がい高等支援職業学科補充選抜」という。)を行う。

志願できる者は、「I 大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科(本校)入学者選抜」の「1 応募資格」の(1)～(3)のいずれにも該当し、次の①～③のいずれかに該当する者とする。

- ① 知的障がい高等支援職業学科補充選抜出願時に、国公立の高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部のうち、いずれの入学者選抜にも合格していない者(出願していない者を含む。)又は合格しても必要な手続きをしなかったため入学の資格を失った者
- ② 中等教育学校前期課程を修了見込みの者であつて後期課程に進級しないことが確定している者のうち、①に該当する者
- ③ 併設型中高一貫教育における併設中学校を卒業見込みの者であつて併設高等学校に進学しないことが確定している者のうち、①に該当する者

なお、知的障がい高等支援職業学科補充選抜の出願、検査等及び合格者発表の期日は、次のとおりとする。

出願	検査等	合格者発表
3月22日(金)	3月22日(金)	3月26日(火)

Ⅱ 大阪府立高等学校に設置する共生推進教室入学者選抜

大阪府立高等学校に設置する共生推進教室入学者選抜にかかる共生推進教室の入学者選抜を実施する設置校（以下、「実施校」という。）は別に定める。

1 応募資格

大阪府立高等学校に設置する共生推進教室への入学を志願することのできる者は、本人及び保護者の住所が原則として大阪府内にある者のうち、次の(1)～(3)のいずれにも該当する者とする。

- (1) 平成31年3月に大阪府内の中学校等を卒業する見込みの者
- (2) 療育手帳を所持している者又は児童相談所等の公的機関により知的障がいがあると判定を受けた者
- (3) 自主的な通学が可能である者

2 選抜方法等

- (1) 学力検査は実施せず、実施校において面接を行う。
- (2) 入学者の選抜は、中学校等の校長が提出する調査書及び推薦書並びに面接の内容を資料として、支援学校長が行う。

3 出願、面接及び合格者発表

出 願	面 接	合格者発表
2月13日（水）及び 2月14日（木）	2月19日（火）又は 2月20日（水）	2月27日（水）

4 併願等

- (1) 本入学者選抜に出願する者は、本入学者選抜方針の大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科（本校）入学者選抜並びに平成31年度大阪府公立高等学校入学者選抜のうち特別入学者選抜、大阪府立豊中高等学校能勢分校に係る入学者選抜、海外から帰国した生徒の入学者選抜、日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜、知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜への志願において、併願することができない。
- (2) 本入学者選抜の合格者は、平成31年度大阪府公立高等学校入学者選抜のうち一般入学者選抜及び二次入学者選抜に出願することができない。本入学者選抜の合格者で平成31年度大阪府立支援学校高等部入学者決定に出願している者は、その受験資格を失う。

5 大阪府立高等学校に設置する共生推進教室補充入学者選抜

本入学者選抜実施校のうち合格者数が募集人員に満たない共生推進教室にあっては、大阪府立高等学校に設置する共生推進教室補充入学者選抜（以下、「共生推進教室補充選抜」という。）を行う。

志願できる者は、「Ⅱ 大阪府立高等学校に設置する共生推進教室入学者選抜」の「1 応募資格」の(1)～(3)のいずれにも該当し、次の①～③のいずれかに該当する者とする。

- ① 共生推進教室補充選抜出願時に、国公立の高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部のうちいずれの入学者選抜にも合格していない者（出願していない者を含む。）又は合格しても必要な手続きをしなかったため入学の資格を失った者
- ② 中等教育学校前期課程を修了する見込みの者であって後期課程に進級しないことが確定している者のうち、①に該当する者
- ③ 併設型中高一貫教育における併設中学校を卒業見込みの者であって併設高等学校に進学しないことが確定している者のうち、①に該当する者

なお、共生推進教室補充選抜の出願、面接及び合格者発表の期日は、次のとおりとする。

出 願	面 接	合格者発表
3月22日（金）	3月22日（金）	3月26日（火）

共生推進教室について

職業学科を設置する高等支援学校と府立高等学校が連携し、知的障がいのある生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行い、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する制度である。

平成 31 年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科入学者選抜の日程について

1 大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科（本校）

(1) 出願、検査等及び合格者発表の日程

出願	検査等	合格者発表
2月13日（水）及び 2月14日（木）	面接 2月19日（火） 検査 2月20日（水）	2月27日（水）

(2) 補充入学者選抜の出願、検査等及び合格者発表の日程

出願	検査等	合格者発表
3月22日（金）	3月22日（金）	3月26日（火）

2 大阪府立高等学校に設置する共生推進教室

(1) 出願、面接及び合格者発表の日程

出願	面接	合格者発表
2月13日（水）及び 2月14日（木）	2月19日（火）又は 2月20日（水）	2月27日（水）

(2) 補充入学者選抜の出願、面接及び合格者発表の日程

出願	面接	合格者発表
3月22日（金）	3月22日（金）	3月26日（火）

平成 31 年度大阪府立支援学校高等部及び幼稚部 入学者決定方針

大阪府立支援学校（大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科を除く。）の高等部及び幼稚部入学者の決定は、以下の方針に基づいて、各支援学校長が行う。

1 募集人員

大阪府立視覚支援学校高等部の普通科を除く本科及び専攻科の募集人員は別に定める。
なお、入学予定者数が募集人員に満たないときは、追加募集を行うことがある。

2 志願できる者

応募資格は、「大阪府立支援学校高等部及び幼稚部入学者決定実施要項」（以下「入学者決定実施要項」という。）により定める。

3 検査方法等

- (1) 入学者の決定は、入学願書及び出身学校長が提出する書類並びに入学のための検査（以下「検査」という。）の結果を資料として行う。ただし、大阪府立視覚支援学校・聴覚支援学校の幼稚部の志願者は、出身学校長が提出する書類は不要とする。
- (2) 検査は、当該校において行う。
- (3) 次に掲げる場合には、検査の一部またはすべてを省略することができる。
 - ア 大阪府教育委員会が入学者決定実施要項で定める検査に準じた検査、または教育相談を当該校長が実施する場合
 - イ 当該校の中学部から高等部に志願する場合

4 出願期間、検査及び入学予定者発表の期日

学校種別	部及び学科	出願期間	検査	入学予定者発表
視覚障がい支援学校	高等部専攻科	1月18日(金)から 1月25日(金)まで (土、日を除く)	2月9日(土)	2月15日(金)
	高等部本科 幼稚部			
聴覚障がい支援学校	高等部専攻科	1月25日(金)から 2月1日(金)まで (土、日を除く)	3月18日(月)	3月20日(水)
	高等部本科			
幼稚部				
知的障がい 肢体不自由 病弱 支援学校	高等部			

5 併願等

- (1) 本入学者決定検査に出願する者は、平成 31 年度大阪府公立高等学校入学者選抜並びに平成 31 年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科入学者選抜において、併願することができる。
- (2) 平成 31 年度大阪府公立高等学校入学者選抜並びに、平成 31 年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科入学者選抜の合格者は、本入学者決定の入学資格を失う。

6 その他

入学者の決定に関し必要な事項は、大阪府教育委員会が別に定める。

平成 31 年度大阪府立支援学校高等部及び幼稚部入学者決定の日程について

1 出願期間、検査及び入学予定者発表の日程

学校種別	部及び学科	出願期間	検 査	入学予定者発表
視覚障がい 支援学校	高等部専攻科	1月18日(金)から 1月25日(金)まで (土、日を除く)	2月9日(土)	2月15日(金)
	高等部本科			
	幼稚部			
聴覚障がい 支援学校	高等部専攻科	1月25日(金)から 2月1日(金)まで (土、日を除く)	3月18日(月)	3月20日(水)
	高等部本科			
	幼稚部			
知的障がい 支援学校 肢体不自由 支援学校 病弱支援学校	高等部			

平成31年度 大阪府立富田林中学校入学者選抜方針

併設型中高一貫校として大阪府立富田林高等学校に併設する大阪府立富田林中学校（以下「富田林中学校」という。）の入学者選抜は、以下の方針に基づいて、富田林中学校長（以下「中学校長」という。）が行う。

第1 全般的な事項

I 応募資格

- 1 富田林中学校に入学を志願することのできる者は、平成31年3月に小学校、特別支援学校の小学部、義務教育学校の前期課程又はこれらに準ずるものとして別に定める学校（以下「小学校」という。）を卒業又は修了（以下「卒業」という。）する見込みの者のうち、原則として、本人及びその保護者の住所が大阪府内にある者とする。

（注）住所とは、住民票に記載されている居所をいう。

II 適性検査等

- 1 入学者の選抜のため、適性検査及び作文を実施する。
- 2 適性検査及び作文の問題は、大阪府教育委員会（以下「府教育委員会」という。）が作成する。
- 3 適性検査及び作文の問題は、小学校で習得される基礎的・基本的な知識・技能、論理的に考える力、表現力及び中高一貫校で6年間学び続けていくことができる意欲・適性をみることを主眼として作成する。
- 4 適性検査及び作文は、中学校長が富田林中学校において行う。

III 提出書類

志願者は、出願時に入学志願書を提出するものとする。その際、小学校の校長による応募資格の確認（押印）を必要とする。

IV 募集人員・通学区域

- 1 募集人員は、1学年3学級120人とする。
- 2 通学区域は大阪府内全域とし、保護者のもとから通学することとする。

V その他

この方針で定めるもののほか、入学者選抜の実施に関し必要な事項は、府教育委員会が別に定める。

第2 入学者選抜の具体的事項

I 適性検査等

- 1 適性検査は、適性検査Ⅰ（国語的問題）、適性検査Ⅱ（社会・理科融合的問題）及び適性検査Ⅲ（算数的問題）とする。
- 2 作文は、400字程度とする。

3 適性検査の出題方針

- (1) 小学校学習指導要領の内容に即して、基礎的・基本的な知識・技能をみる問題と、身に付けた知識・技能を活用する力や論理的思考力をみる工夫をこらした問題を、総合的にバランスよく出題する。
- (2) 小学校で学習した内容を基にして、中高一貫校で6年間学び続けていくことができる意欲・適性をみるため、次のような力をみる。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1) 基礎的・基本的な知識及び技能2) 必要な知識を正しく理解するための読解力3) 他の人の立場に立って考えられるような想像力4) 筋道立てて考えるための思考力と思考に基づく判断力5) 分かりやすく伝えるための表現力 |
|--|

4 作文の出題方針

中高一貫校で6年間学び続けていくことができる意欲・適性及び自らの考えや意見を論理的かつ適切に表現する力をみる。

II 選抜資料・方法

- 1 適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの成績及び作文の成績を選抜の資料とし、その総合点（360点満点）により選抜を行う。
- 2 合格者の決定に当たっては、次のように行う。
 - (1) 総合点の高い者から、男女別に原則として募集人員の45%に当たる者をそれぞれ合格とする。
 - (2) 残りの10%については、男女を問わず、総合点の高い者から順に募集人員を満たすよう合格者を決定する。
 - (3) 入学辞退者が生じた場合、「繰上順位」に従い、順次入学の意思を確認する。
「繰上順位」は、上記(1)、(2)の手順で合格とならなかった者のうち、男女を問わず、総合点の高い者から決定する。

III 出願、適性検査等及び合格者発表の期日

出 願	適 性 検 査 等	合 格 者 発 表
12月26日(水)及び12月27日(木)	1月26日(土)	2月3日(日)